



ケンタ君

学校の帰りに、器械をのぞいている人を見ただけ・・・？

あれは測量をしている測量士さんじゃよ。
どういう人かな。くわしい人に聞いてみよう。



マップ博士

測量士や測量士補は、測量を正しく行うために定められた「測量法」という法律で決められている国家資格です。

測量法では、国土地理院が行う測量を基本測量といい、国や市町村などが行う測量を公共測量といいます。例えば、国土地理院が2万5千分1地形図を作成するための測量は基本測量で、市役所が道路や橋を作るときに行う測量などが公共測量です。これらの基本測量や公共測量を行うためには、測量士や測量士補の資格を持っていなければならないと決められています。

測量士は、基本測量や公共測量を正しく行うことができるように計画を立てます。測量士や測量士補は、この計画に従って測量を行います。測量士や測量士補は、正確な測量を行うために欠かせない存在であり、測量のスペシャリストです。国土地理院では、測量士や測量士補の国家試験や国家資格の登録を行っています。



高さを正確にはかる水準測量の様子

測量士や測量士補の資格を取得するには、国家試験を受験して合格する方法と、大学や専門学校などが必要な科目を勉強して卒業する方法の2つがあります。

測量士・測量士補の国家試験は、毎年5月の日曜日に行っています。試験は、測量士補はマークシート、測量士はマークシートと記述式で行われ、測量に関する幅広い分野の知識や技術について、出題されます。

今年の測量士補試験は、北海道から沖縄までの14都市で14,042名が受験し、最年少の合格者は14歳、最年長の合格者は83歳でした。

この試験は、年齢や学歴、国籍などに関係なく、誰でも受験できます。願書の受付などの案内は12月頃に国土地理院のウェブページでお知らせしていますので、チャレンジしてみてもいいかもしれません。

測量士や測量士補の資格についての詳細は、以下の測量士・測量士補国家試験及び登録のページをご覧ください。

【<http://www.gsi.go.jp/LAW/SHIKEN/SHIKEN-top>】

(企画部)